

令和四年

年頭のご挨拶



一般社団法人 富田林医師会

会長代行 藤岡 洋

令和4年の初春を迎えることとなりました。如何お過ごしですか？

昨年は新型コロナウイルス感染症対応に追われ大変な1年でしたが、終わって見ればあっという間に過ぎてしまった印象でした。正月前からの第3波、長く続いた緊急事態宣言、当医師会では4月から5月にかけて医療従事者のワクチン接種にはじまり次いで高齢者の集団接種と施設など入所者の巡回接種を開始しました。ワクチン接種のワーキンググループ(以下WG)の先生方を中心として医師会で志願していただいた先生方のご理解、ご協力の下最初はほぼ連日午後4時間以上出務、日曜祝日は2交代で問診医師7~8名、接種医師7~8名で多い日は2500接種を超えることもあり、WGの先生方の巧みな采配でスムーズに進み、接種された方からも好評でした。高齢者の集団接種が進んでいる中、一般の方の集団接種も始まりました。こちらの方が危惧されましたが、副反応も予想より少なくほとんど迷走神経反射等で明らかにアナフィラキシーショックと思われたのはごく少数だったと聞いています。2回目接種も希望者にはほぼ終了しました。従事していただいた先生方本当にお疲れさまです。今後は3回目接種が年明けから本格化すると、5~11歳の接種が管内の小児科クリニック(現在6施設に受託してもらっています)で個別接種される予定です。

オミクロン株の市中感染(2~3月に第6波の可能性?)が懸念されますが、今後内服薬の普及、ワクチン等で、ウイズコロナとなり、日常を取り戻して行くようになればと願います。そうならば開業医、かかりつけ医の負担は増すと思われれます。コロナ禍でも、関係者のお力で医療・介護・福祉等のサービスは続けられています。医師会も主体となる時、サポートにまわる場面いろいろあり、疲れたとは言ってられない状況です。企業より提供された空気清浄器付きオゾンガス発生装置を市内の幼稚園、小学校に導入する件にも学校医をお願いしている医師会へ了承を得ることなしに開始するというのを会員の先生からご連絡いただき、市および教育委員会に使用を止めるよう交渉し、児童・生徒がいる時間の使用はしないことを確約してもらいました。コロナワクチン接種率も大阪府下では管内4市町村が早期から上位を占めており、対応が間違っていなかったと思います。2020年は富田林医師会創立70年の記念式典を行う予定でしたが、2021年に延期となり結局中止せざるを得なかったことは残念でした。2021年の忘年会、2022年の新年互礼会もできる状況にないことはご理解いただけたと思います。会員の先生が早期に自由に懇談、会食できる機会が持てたらと願います。今後3回目のワクチン接種など、またお忙しいことと存じますが、会員の皆様には呉々もお身体大切にいただき益々のご活躍を祈念しています。頑張るしかありません。皆様にとって素晴らしい年になるようお祈りいたします。

